

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月30日

上場会社名	SBIリーシングサービス株式会社	上場取引所	東
コード番号	5834	URL	https://www.sbils.co.jp
代表者	(役職名) 代表取締役会長兼社長	(氏名)	佐藤 公平
問合せ先責任者	(役職名) 取締役管理本部長	(氏名)	吉原 寛
TEL	03(6229)1080		
四半期報告書提出予定日	2024年2月9日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	無		
四半期決算説明会開催の有無	有（四半期決算説明動画を公開予定）		

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期第3四半期	34,951	77.2	3,921	109.4	3,667	147.4	2,585	153.4
2023年3月期第3四半期	19,726	—	1,872	—	1,482	—	1,020	—

（注）包括利益 2024年3月期第3四半期 3,207百万円（102.0％） 2023年3月期第3四半期 1,587百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	332.44	332.01
2023年3月期第3四半期	140.90	139.28

- （注）
- 2022年3月期第3四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 - 当社は、2022年7月22日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。
 - 2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式は2022年10月19日に東京証券取引所グロス市場に上場したため、新規上場日から2023年3月期第3四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年3月期第3四半期	85,077	20,908	24.6
2023年3月期	48,354	17,778	36.7

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 20,891百万円 2023年3月期 17,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,800	0.6	4,600	14.3	4,000	13.2	2,800	14.6	360.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	7,776,800株	2023年3月期	7,776,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	42株	2023年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	7,776,774株	2023年3月期3Q	7,241,455株

（注）当社は、2022年7月22日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算説明資料の入手方法について）

当社は、四半期決算説明動画（録画形式）を当社ウェブサイトにて公開する予定です。

四半期決算説明資料につきましても当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されて以降、インバウンド需要や個人消費、企業業績に回復傾向が見られます。一方で、世界的な金利情勢の影響や中国経済の減速、不安定な世界情勢など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域である航空業界におきましては、業界全般で堅調な回復を見せており、旺盛な旅客需要を受けた航空各社の業績回復や今後のさらなる旅客需要増加への期待が高まっています。また、環境性能の優れた次世代機材への継続的な発注も行われています。ただし、航空機エンジンのトラブルなどによる影響が航空各社の業績にどのような影響を与えるかを注視していく必要があります。

海運業界におきましては、中東情勢の悪化の影響により迂回ルートでの航行を選択する船舶が増加しており、幅広い船種において運賃上昇などの影響が見られております。その他にも、パナマ運河の渾水に伴う通行規制や二酸化炭素等の温室効果ガス削減に向けた環境規制の本格的な導入の影響も確認されており、今後も地政学リスクの高まりや各種規制による影響を注意深く見てまいります。

このような環境の中、当社グループのオペレーティング・リース事業においては、本第3四半期にJOL商品を4機組成するとともに、JOLCO商品では為替変動リスクに対応した円建て商品を中心に組成を行うことで、多様な商品をバランスよく取り揃え安定的に商品を提供していくための商品在庫の確保を行っております。商品販売においては、前年同様に為替の変動が大きい局面がありましたが、本第3四半期では、円建てのJOLCO商品を中心に販売を行うとともに、実物資産投資であるJOL商品を1機販売し、当第3四半期連結累計期間でのJOL商品の販売を5機(前年同四半期は2機)へと拡大させました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高34,951百万円(前年同四半期比77.2%増)、営業利益3,921百万円(同109.4%増)、経常利益3,667百万円(同147.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,585百万円(同153.4%増)となりました。

また、商品組成金額は239,027百万円(前年同四半期比117.5%増)、商品出資金等販売金額は56,621百万円(同22.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は74,755百万円となり、前連結会計年度末に比べ37,472百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が5,565百万円減少しましたが、商品出資金が26,806百万円、販売用航空機等が16,150百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は10,322百万円となり、前連結会計年度末に比べ748百万円減少いたしました。これは主に、賃貸資産が557百万円、繰延税金資産が220百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は85,077百万円となり、前連結会計年度末に比べ36,723百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は50,613百万円となり、前連結会計年度末に比べ33,970百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が2,208百万円減少しましたが、短期借入金が36,199百万円増加したことによるものであります。

固定負債は13,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ376百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が376百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は64,169百万円となり、前連結会計年度末に比べ33,593百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は20,908百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,129百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,585百万円、繰延ヘッジ損益の増加622百万円及び剰余金の配当77百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年4月27日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,812	8,246
営業未収入金	340	221
商品出資金	21,768	48,575
販売用航空機等	—	16,150
その他	1,360	1,560
流動資産合計	37,283	74,755
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	8,893	8,335
貸貸資産合計	8,893	8,335
社用資産		
建物附属設備	62	60
工具、器具及び備品	4	3
社用資産合計	67	63
有形固定資産合計	8,960	8,399
無形固定資産		
のれん	309	270
ソフトウェア	28	23
無形固定資産合計	337	293
投資その他の資産		
関係会社株式	193	279
関係会社出資金	48	56
繰延税金資産	1,375	1,154
その他	155	138
投資その他の資産合計	1,773	1,629
固定資産合計	11,071	10,322
資産合計	48,354	85,077

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	8,800	44,999
1年内返済予定の長期借入金	502	502
未払金	383	224
未払法人税等	2,914	705
契約負債	3,320	3,766
その他	722	414
流動負債合計	16,643	50,613
固定負債		
長期借入金	13,904	13,528
資産除去債務	27	27
固定負債合計	13,932	13,555
負債合計	30,575	64,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,032	1,032
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	12,809	15,316
自己株式	—	△0
株主資本合計	17,754	20,261
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	6	629
その他の包括利益累計額合計	6	629
新株予約権	17	17
純資産合計	17,778	20,908
負債純資産合計	48,354	85,077

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	19,726	34,951
売上原価	15,564	28,874
売上総利益	4,162	6,076
販売費及び一般管理費	2,289	2,155
営業利益	1,872	3,921
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
商品出資金売却益	63	105
為替差益	14	62
その他	1	1
営業外収益合計	78	169
営業外費用		
支払利息	285	338
支払手数料	170	83
株式交付費	12	—
その他	0	—
営業外費用合計	469	422
経常利益	1,482	3,667
特別損失		
関係会社清算損	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	1,479	3,667
法人税、住民税及び事業税	1,418	1,136
法人税等調整額	△959	△53
法人税等合計	459	1,082
四半期純利益	1,020	2,585
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,020	2,585

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,020	2,585
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	566	622
為替換算調整勘定	0	—
その他の包括利益合計	567	622
四半期包括利益	1,587	3,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,587	3,207

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。